

< 広報 >

創刊号

平成19年

11月10日

青山小学校区

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

コミ協だより

青山小学校区
コミュニティ
協議会

青山小学校区二十自治会・町内会（三、二〇〇世帯）及び二十一団体が参加し、

創刊メッセージ

青山小学校区コミュニティ協議会

会長 村川 順 三

自主的町づくり活動を目指して、十八年八月二十四日に「青山小学校区コミュニティ協議会」が設立されました。一年を経過し、これまで充実した活動を展開してきましたが、ここで、「青山小学校区コミ協だより」

を発行する運びとなりました。共に同じ地域に住む人々が、安心・安全で、楽しく生き生きと暮らせる様に、皆様のご理解、ご支援と、当協議会の更なる活動の発展を願って、本誌創刊のご挨拶とさせていただきます。



政令指定都市誕生で関屋分水以西に新しい行政区を形成する「西区」。六月十八日、信濃川の関屋分水の堤に色とりどりのペゴニアを植栽して花文字「西区」を製作した。花文字にはコミュニティの団結と協調の願いが込められている。



口十六万人を擁する同市第二の行政区。

信濃川関屋分水

花文字「西区」

団結と協調の願い込めて――。



青山小学校区コミュニティ協議会（村川順三会長）は九月二十二日「区長と語る会」を開き、西区の山田四郎区長とまちづくりビジョンなど諸課題をめぐって意見交換した。協議会からは自治会長、民生委員ら十三人が出席。区の概要説明があった後、山田区長がまちづくりの基本計画についての①安心・安全の町づくり②区職員の意識改革③信頼と親しみのある区役所などの方針を示し、地区コ

区長と語る会

西区のまちづくりビジョン
活発に意見交換

ミ協との協働の区政運営を呼び掛けました。自治会長らが「まちづくりの内容が総花的、何を重点的にやっていくのか」と区長の考え方をただした後、南北道路網の改良と整備、浦山四区の区画整理、電線の地中化、商店街の振興などをめぐって活発に意見交換した。

また、関屋堀割町内会長らから、選挙の期日前投票会場について「従来通り、市役所本庁舎でも出来るようにしてほしい」と要望が出された。

災害から“いのち”を守る。

浦山地区自主防災会設立総会・発会式

自主防災でスクラム

浦山地区自主防災会の設立総会と発会式が六月二十四日、青山コミュニティハウスで開かれた。浦山地区の十三自治会・町内会で構成、二千六十一世帯が加入する自主防災組織。総会では山田四郎西区長が「災害時で一番



大切なのは近所同士の助け合い」などとお祝いを述べた後、議事に移り、規約承認、十九年度の事業計画を決め、役員を選出した。初代会長に選任された村川順三氏は「地域の防災力向上に尽くしていきたい」と決意を述べた。

浦山地区 防犯協会 総会

平成十九年、度浦山地区防犯協会総会が六月二十三日、青山コミュニティハウスで開かれ、十九年度の事業計画と新役員を承認した。

新会長に佐藤孝氏（浦山五区）、副会長に富沢武司（青山上山）、若山義男（浦山中央区）両氏が就任した。

有明地区 防災訓練

本番さながらの緊張感

組んだ。倒壊家屋の下から被災者を助け出す救出作業には大勢の参加者が迅速に行動し、本番さながらの訓練を展開した。



浦山地区 防災訓練

起震車で揺れを体感

浦山地区自主防災会の初めての大きな防災訓練が十月二十一日、同地区のやすらぎ公園を主会場に行われ、十三自治会・町内会から約四百人が参加した。「午後八時三十分、震度6の地震発生」の想定で実施。あいにくの悪天候だったが、

各自治会単位で近くの第一避難所に集合した後、自治会ののぼり旗を立てやすらぎ公園へ。新潟市消防局の指導で初期消火の訓練に取り組み一方、起震車に乗り込んで実際の地震の揺れを体感した。振動の怖さに身震いし、手を取り合って緊張している親子もいた。





コーラス有明



まつの会



健康体操

青山コミュニティハウス文化祭



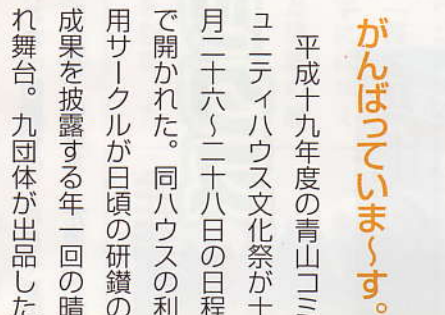
親和会民踊



千鳥会



有明フラダンス



がんばっています。

平成十九年度の青山コミュニティハウス文化祭が十月二十六～二十八日の日程で開かれた。同ハウスの利用サークルが日頃の研鑽の成果を披露する年一回の晴れ舞台。九団体が出品した

思い思いの芸術の秋。

力作ズラリ

熱演に歓声と拍手

平成19年10月26日▼28日

作品 展：10月26日▼27日

芸能発表会：10月28日

作品展には書道、日本画、編み物など労作が展示され、芸能発表会ではコーラス、民踊、健康体操、フラダンスなど七団体が熱演、会場は歓声と拍手に包まれ、思い思いの芸術の秋を楽しんだ。



大舟会



太極拳青山会

作品展には書道、日本画、編み物など労作が展示され、芸能発表会ではコーラス、民踊、健康体操、フラダンスなど七団体が熱演、会場は歓声と拍手に包まれ、思い思いの芸術の秋を楽しんだ。

作品展には書道、日本画、編み物など労作が展示され、芸能発表会ではコーラス、民踊、健康体操、フラダンスなど七団体が熱演、会場は歓声と拍手に包まれ、思い思いの芸術の秋を楽しんだ。

主催者側の村川順三会長のおいさつ、集いの企画、運営に当たった民生・児童委員、自治会長が順次紹介された後、西区の沢田雄司

平成十九年度、新潟市西区浦山地区の「ふれあいの集い」(青山小学校区コミュニティ協議会など主催)が九月十日、同市小針の一富会館で開かれました。七十五歳以上の高齢者が参集して交流するお

副区長が長年社会の発展に貢献してきた出席者に謝意を述べた。会食と同時平行のアトラクションにはまず、お笑い集団の「なまら」の二人が登場、風船を巧みにあやつった妙技を披露した後、健康体操でじよんのびしながら「元氣小唄」の替え歌を斉唱した。

平成19年度 浦山地区 ふれあいの集い

♪頭と足腰 使う人
元氣ある人 ボケません～



地区ふれあいの集い

有明園地区懇談会



西有明町の特別養護老人ホーム・有明園と地域団体の懇談会が九月二十八日、同園で開かれ、同園職員、有明自治協議会、青

山地区民生児童委員協議会、明和会から三十一人が出席しました。この懇談会は「火災・災害等緊急時における協力関係づくりのために」と昨年からはじまり、今回は七月に発生した中越沖地震をめぐって懇談した。柏崎市の被災地施設に派遣された有明園職員の報告を聞いた後、当地域で同じような災害が発生したさい、有明園として要援護者らの受け入れをどうするか、などについて話し合われた。

ふれあい夏まつり



第九回ふれあい夏まつりが八月二十五日、西有明町・有明福祉タウンで行われ、子どもからお年寄りまで約千五百人が詰めかけ、盆踊り、花火に興じ、会場に並んだ出店は大勢の人出で賑わいました。



新潟西安全協会の創立五〇周年記念式典が十月二十日、黒埼市民会館で開かれた。本年の同日までの本県交通事故死亡者は百十七人。犠牲者に黙祷をした後、優良運転者交通安全功労者に対する表彰が行われた。

新潟西安全協五〇周年

有明

タウン・プロジェクト

浦山

TOWN TOPICS in ARIAKE & URAYAMA

信濃川クリーン作戦



西区の関屋分水左岸の土手や遊歩道をきれいにする「信濃川クリーン作戦」が七月二十二日行われた。絶好の清掃日和に恵まれ、地区住民五十五人が参加、空き缶や紙くずなどを拾い集め、地域の環境美化に汗を流した。

そうめん流し



西有明町の有明福祉会館で八月六日、そうめん流しが行われ、同館和みの部屋の利用者、児童セ

ンターの子どもら約三百人が歓声を上げながらそうめんを味わった。和みの部屋が主催し、約三〇kgのそうめんを用意。青山地区民生・児童委員協議会が横越地区で伐採してきた青竹を半分に割り、消毒してつなぎ合わせた流し台はざつと十六メートル。今年七年目となり、夏の風物詩として定着しています。



秋晴れに恵まれた十月十四日、青山の地域活動支援センター青山で交流餅つき大会が行われました。地域の住民百人が集まり、餅つきを楽しみ、つき立ての餅を食べながら和やかに交流しました。同センターでは知的障がいのある十五歳以上の四十人が製品づくりの作業や運動、趣味を楽しんだりして元気に過ごしています。

地域交流もちつき大会